

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 英樹  
幹事 石川 泰隆  
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3212回例会プログラム

[当年度=10回目；当月=4週目]

2023年（令和5年）9月25日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:15 〈食事〉  
12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 副会長挨拶並びに副会長報告  
7. 新会員挨拶……………相吉 宏二 会員  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(10/2) ……クラブ協議会  
ガバナー補佐訪問  
(10/9) ……休 会（法定休日）
- 13:00 13. 本日のプログラム  
卓話 「麹菌の可能性について」  
講師 株式会社ビオック  
代表取締役社長 村井裕一郎 様  
(紹介者 中川 耕児 会員)
14. 謝 辞  
15. 点 鐘…………… 〈副会長〉  
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散 会

## 出席 席

会員総数 97名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名  
欠 席 7名 出席率 92.13%  
前々回（9/4）の修正出席率 100%

## 副会長報告

- 1) 9月14日（木曜日）ナガシマカントリークラブにて、9月度ゴルフ例会が開催されました。グロス90、ネット70.6にて盛田豊一会員が優勝されました。  
2) 同日刈谷 RC・知立 RC 合同親睦ゴルフが開催され、澤田昌秀会員がグロス83、ネット69.8にて優勝されました。

## 幹事報告

- 1) 9月25日付で相吉宏二会員が入会されましたので、会員数を97名と訂正致します。委員会の配属は、会場委員会になります。  
2) 本日例会終了後に特別会議室にて、第4回の理事会を開催致します。関係の会員はご参加をお願い致します。



## 電気の始まり

紀元前600年(2600年前)ギリシャの哲学者タレスが琥珀を布でこするとホコリや羽根などの軽い物を引き付けることに気が付きます。

静電気が発生したとまではわかっていませんでした。

## \* 古代ローマ時代

琥珀とは、地上に生えていた樹木の樹脂が化石化したもので硬くて透明なガラスのような物。琥珀をギリシャ語でエレクトロン等の単語の語源になりました。

紀元前300年前、中国の書物に磁石を知っていたとみられる文があります。

## \* 秦の始皇帝が統一する前

日本では続日本書紀の713年に近江から磁石を献上したと記述があるそうです。

静電気、摩擦電気に気付いてから2000年間研究の進展は無かったようです。

1752年アメリカのベンジャミン・フランクリンが雷が静電気であることを凧揚げにて証明。以後、電気の理論が大きく進むきっかけになりました。

## 日本に初めて電気がついた日

電気がなかった時代は、電化製品もなく、車も無い。テレビの時代劇で見ると、馬や牛で畑を耕作したり、荷車で運搬したり、人や動物の力を頼っていました。

洗濯は川や井戸からくんだ水で手洗いをし、お風呂は、くんだ水を薪で沸かすなど家事も重労働でした。

電灯を使う前は、ロウソクの火や石油ランプ、ガス灯が主な照明道具でした。

明治11(1871)年、およそ150年前の3月25日、東京虎ノ門の東京大学工学部のホールにアーク灯が設置されました。

アーク灯は電気を使って発生させた火花を利用した電灯です。当日は式典もあり、まばゆい光でホールが照らされて、人々はその明るさに目をみはったと伝えられています。

これが初めて電灯がともった日で、「電気記念日」になっています。

## 「麹菌の可能性について」

講師 株式会社バイオック

代表取締役社長 村井裕一郎 様



はじめまして、愛知県豊橋市で種麹メーカー糶屋三左衛門、バイオックの社長をしております村井裕一郎と申します。種麹とは、味噌や醤油、清酒、焼酎などの元になる麹を作る、さらに元になる麹菌のことです。全国の醸造メーカーの大半が、種麹を

当社のような種麹メーカーから購入しています。私どもは、その中でも最も古く600年前の創業で、私が29代になります。

祖父の代に京都から豊橋に分離独立しました。その理由として、愛知県は、豆味噌、たまり、白醤油、みりん、酢など独自の多様な発酵文化が大変盛んだったことがあります。これだけ多様な発酵文化のある地域は類を見ません。

さて、近年に入り、微生物を取り扱う技術がバイオテクノロジーとして注目され、時代に対応していくために、父が糶屋三左衛門の研究や製造などの部門を元に株式会社バイオックを設立しました。現在では、学校でいえば社会科に当たる歴史や伝統の事業は糶屋三左衛門で、理科に当たる、技術や製造研究開発などに当たる事業はバイオックの2社体制となっています。

このように「発酵」は、学校の科目でいえば理科と社会、理系と文系が融合するところも魅力です。例えば、愛知県の豆味噌はこの愛知県の温暖湿潤な気候という理科の観点からも説明できますし、徳川家康が味噌造りを奨励したからと、社会の観点からも説明することができます。

そして、「発酵」は、生物学や歴史と伝統だけでなく、健康効果の側面や、日本独自の調味料や嗜好品としても世界のガストロノミーシェフから注目を集めています。

「発酵」とは、簡単に言えば、微生物を使って物質を変化させて、人間にとって好ましい変化を起こすことです。豆を変化させて味噌を造るように、微生物を利用して有益な様々な物質を作る取り組みがいわゆるフードテックの分野で始まっています。このように、多様な分野で、日本の持つ、発酵、そして、麹の可能性が期待されています。



## 新 会 員 紹 介

氏 名 あいよし こうじ 相吉 宏二  
生年月日 昭和39年1月9日  
推 薦 者 鈴木 豊 会員  
職業分類 機械工具販売  
事業所名 株式会社東陽  
役 職 名 常勤監査役  
所属委員会 会場委員会



## 9 月 度 刈 谷 RC ゴ ル フ 例 会

令和5年9月14日(木)

於：ナガシマカントリークラブ

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	盛田 豊一	90	19.4	70.6
2 位	塚本 幸夫	98	24.2	73.8
3 位	岡田 行永	83	8.4	74.6
B B	横山 宜幸	98	18.0	80.0

